

じゃっと新聞

No.76 号

総会報告 ご挨拶

発行日：2020. 6. 25

発行人：古田 宣稔

発行所：じゃっと事務局

〒895-0051

鹿児島県薩摩川内市東開聞町 3-1

TEL/FAX 0996-27-0193

e-mail info@jaddo.or.jp

http://www.jaddo.or.jp/



理事長 古田 宣稔

新型コロナで外出が制限され、マスク着用を余儀なくされた5月16日の総会で帖佐徹理事長から引継ぎました古田宣稔（フルタ ノリトシ）です。宜しくお願い致します。

昨年末じゃっどの活動のラオス責任者の Dr. ソムチットが亡くなり、じゃっどの活動の大きな柱を失い、活動の今後を考えざる得なくなりました。途上国で活躍していた全ての海外協力隊員が帰国しました。ラオスも例外でなく、全員帰国しており、再開のめどが立っていません。ラオスと日本の未来はどうなるんだろう、じゃっどの活動はどうなるんだろう。日本いや世界がある日突然、国を行き来することが厳しい環境になるとは思ってもいませんでした。日本でのコロナが終息するのか、第2波、第3波はくるのか、ラオスの終息がいつになるのか、先の見通せない状況がいつまで続くか、不安しかありません。

じゃっどの活動から少し離れていましたが、帖佐夫妻が築いてきた「じゃっどの心意気」を引継いでいくこと、じゃっど活動の将来を皆で考える機会を作るので、皆様のご協力をお願いいたします。

コロナによる活動の自粛は、「じゃっど」にとって活動を振り返り将来を模索する機会になると思います。

1. 「じゃっど」が四半世紀を超え28年目を迎えた。
2. 今年一年は継続してきた活動が出来ない。
3. ラオスでの活動を Dr. コンサップを中心とするラオスメンバーと今後を協議する。

緑豊かなラオスで活動を再開するための充電期間だと思います。拙い挨拶になりましたが、今後とも会員の皆様と一緒に「じゃっど」を通じ、学校保健でラオスの子供達の成長に寄与していきたいと思っております。

暑い夏が来るたび、ラオスで飲んだビアラーオを思い出します。

令和1年度（2019年）事業報告

自 平成31年4月1日～ 至 令和2年3月31日

色々なことで翻弄された一年でありました。

まずとても悲しいことに、長年の「じゃっど」ラオス側カウンターパートである、Somchit Akkhavong 先生が、2019年12月29日に他界されました。彼女は、「じゃっど」創設者である帖佐理子と初期から協力して来ました。彼女無しでは活動そのものが難しかったでしょう。彼女のご冥福を心からお祈りします。夫の Kongsap Akkhavong 先生の心痛も大きく、現在はフランスの長女宅に滞在し静養中で、今後の活動は令和2年6月以降に協議したいとのことです。

またメンバーの高齢化が進み、加えてコロナ禍です。全ての計画が頓挫中です。

昨年度活動としては、スタディツアーでは三度目のホームステイが実施され、お馴染みとなった3家族の方々に、高校4、大学1、成人1の女子6名、および大学男子1名を受け入れていただきました。今回もビエンチャンからの長い距離のバス旅行で、夕方のトゥン村入りとなりましたが、小学校の生徒達や先生方、村の方々に盛大に迎えていただきました。学生達は、すぐに家族と馴染んで、日本式カレーも一緒に作っていました。恒例の村のカルチャー巡りでは、編み笠づくり、機織りを経験しました。トラクターでの田園ツアーでは、二期作田植えや、野菜農園を見学しました。「キュウリのQちゃん」農場は、人件費が上がったため中止になっていました。タバコやゴムプランテーションも不調のようで、請負農業の厳しさも知りました。子供たちとの交流では、学生達は「パブリカ」や「ドラえもん」を披露しました。もちろん可愛い子供たちのダンスも見せて貰いました。ラオス語翻訳絵本を数種、9校に配布したほか、天井ファンを2校に計15基供与しました。国内活動も以下実施されました。机いす募金が保留になっていた分は、絵本に寄付者の名前を貼って学校に届け、絵本をラオスの子どもが持っている写真を送り喜んでもらいました。NGO福岡ネットワークと協力してのJICA応募は全く頓挫の状況です。コロナ禍他多くの問題山積で、「じゃっど」の活動を今後どうしていくのか、深いレベルで検討せねばなりません。まずは「じゃっど」の新体制を確立し、ラオス側と現地での協議が必要と考えます。皆様のご支援をお願い致します。

1.国内の活動

○開発部：

◆参加したイベント(パネル展示)

鹿児島純心女子大学祭 11/26,27 薩摩川内ポートフェア 11/23

薩摩川内市生涯学習フェスティバル 2/16

◆解決したい気持ちを形に変える—九州 NGO の組織強化（JICA×FUNN）参加 5/25-26、7/6-7

危機管理・安全管理研修参加 2/7

○絵本部

「おおきなかぶ」「ジोजジオのかんむり」「11ぴきのねこ」「スイミー」「スーホの白い馬」「みんなうんち」「わにさんどきっはいしゃさんどきっ」「はらぺこあおむし」「おなら」各9冊合計63冊を机いす募金保留分として購入しツアー参加者を中心にラオス語翻訳シールを貼った。

○広報部：じゃっど新聞 74号・75号発行

ホームページ、Facebook の充実、更新 新規会員募集、れいめい中学立志式講話

ラオスの子供たちに持参するタオルを募集し 350 枚を超える数が集った。

2. ラオスでの活動

○本年度活動支援校（カムアン県）

トゥン村小学校

文具、絵本、タオルを供与。子供達にはお菓子のお土産

ファナ村小学校

天井ファンを 6 基供与

タオルや絵本は教育局と他 8 校にも供与した。

NhangKham 小学校、Nhang Nhay 小学校、Sang 村小学校、Som 村小学校

VeunSe 小学校、NaTham 小学校、Thub 村小学校、PongDeang 小学校

サムケ小学校（ビエンチャン市郊外）

手洗い場(簡易水道工事)、天井ファン 9 基、タオル、絵本、文具供与、



Samket(サムケ)小学校



Tun(トゥン)小学校

3. 視察ツアー

○日 程 2019 年 12 月 25 日～12 月 31 日

参加者：11 名(派遣学生 5 名含む) 通訳:虫明悦生氏

活動地：ビエンチャン市、カムアン県セバンファイ郡

活動内容:本年度は、学生 6 名(大学生 2、高校生 4)を含む参加者 11 名の参加があった。

カムアン県へ移動し、学生はトゥン村で 2 泊のホームステイを体験。村で結婚式前夜祭に参加させてもらいラオスの文化に触れた。日本から持参したタオルや文具、絵本の贈与式、子供たちや村民と文化交流やバーシーを行った。またホストファミリー宅に台所用品を 5 セット供与した。

すでにニュースレターで学生の報告文を掲載したが、報告会は COVID-19 の影響で延期となっている。

令和1年度活動計算書及び令和2年度活動予算書

収入

	科 目	No	令和1年度決算	令和2年度予算
前期繰越	国内		3,291,869	2,473,748
	ラオス		404,321	914,888
小計①			3,696,190	3,388,636
会費・寄付金	受取会費	1	306,000	300,000
	受取寄付金	2	1,344,813	1,000,000
	受取助成金	3	40,000	40,000
小計②			1,690,813	1,340,000
事業費	自主事業収益	4	817,560	0
小計③			817,560	0
その他	受取利息	5	27	10,000
小計④			27	10,000
A 当期収入合計 ②+③+④			2,508,400	1,350,000
B 収入合計 ①+②+③+④			6,204,590	4,738,636

支出

	科 目		令和1年度決算	令和2年度予算
事業費	学校保健費	6	312,680	100,000
	学校設備充実費	7	227,347	300,000
	地域住民健康活動費	8	0	50,000
	普及・啓発費	9	3,000	5,000
	スタディツアー費	10	1,509,274	0
	旅費交通費	11	9,667	100,000
	車両費	12	83,407	50,000
	通信運搬費	13	2,358	5,000
	事務消耗品費	14	0	10,000
	会議費	15	0	20,000
	印刷製本費	16	5,170	10,000
	雑費	17	0	40,000
	為替差損	18	74,334	5,000
	賃借料	19	118,519	130,000
	接待交際費	20	36,296	35,000
小計⑤			2,382,052	860,000
管理費	印刷製本費	21	27,709	30,000
	会議費	22	510	2,000
	旅費交通費	23	29,500	10,000
	通信運搬費	24	117,750	120,000
	事務消耗品費	25	15,912	20,000
	接待交際費	26	5,356	10,000
	減価償却費	27	153,000	0
	諸会費	28	41,375	50,000
	雑費	29	42,790	45,000
小計⑥			433,902	287,000
	予備費(活動準備金)			3,591,636
小計⑦				3,591,636
C 支出合計⑤+⑥+⑦			2,815,954	4,738,636
A-C=D 当期正味財産増減額			-307,554	
E 前期繰越正味財産額			3,696,190	
D+E 次期繰越正味財産額			3,388,636	

貸借対照表

特定非営利活動法人じゃっど

[税込] (単位: 円)
2020年 3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 ・ 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		流動負債合計	0
現 金	91,714	負債合計	0
普通 預金	1,899,266	正 味 財 産 の 部	
普通預金②	482,768	前期繰越正味財産	3,696,190
現金・預金 計	2,473,748	当期正味財産増減額	△ 307,554
(その他流動資産)		正味財産合計	3,388,636
仮 払 金	914,888		
その他流動資産 計	914,888		
流動資産合計	3,388,636		
資産合計	3,388,636	負債及び正味財産合計	3,388,636

令和 1 年度 決算監査報告

令和 2 年 5 月 8 日

特定非営利活動法人 じゃっど
理事長 帖佐 徹 様

特定非営利活動法人 じゃっど

監事 若田 吉朗 

当監事は、特定非営利活動法人じゃっどの平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日までの令和 1 年度事業年度における業務及び会計、財産の状況について決算監査を実施したので以下のとおり報告します。

記

1. 監査期日 令和 2 年 5 月 8 日 (金)
2. 監査場所 特定非営利活動法人 じゃっど事務局
3. 立会人 特定非営利活動法人じゃっど事務局長 帖佐 理子

4. 監査報告

令和 1 年度事業及び会計、財産の状況について諸 1 帳簿ならびに関係書類等を監査した結果、会計原則に基づいて作成され正当に執行されていたことを認める。また業務の執行についても適正に行われていたことを認める。

以上

令和 2 年度(2020 年) 事業計画

自令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日

令和 1 年 12 月 29 日の Dr Somchit のご逝去や、本年度のコロナ禍に伴い、事業計画の延期ないしは見直しを余儀なくされている。

まず第一に Dr Kongsap の「じゃっど」継続の意思を確認する必要がある。本年度初めには継続の意思は示されたが、2 月以降はフランス滞在中でありラオスには帰国出来ず、今後の活動については、6 月以降に考えたいとのことである。

コロナ禍が年度内には収束するものと考えて以下計画を立案する。

国内活動

① 絵本部：

「はらぺこあおむし」「おなら」等を今年も翻訳シールをはり、ラオスの小学校に届ける。新しい絵本を探す。

② 開発部：

県内の小中学校での講話

県内の国際交流活動やイベントに積極的に参加

ボランティア体験学生の受け入れ

パネル展示の実施

各種助成金制度への応募

JICA 九州 NGO 組織強化研修への参加

事業マネジメント研修【個別相談】への参加

③ 広報部：

じゃっど新聞の発行、ホームページの充実更新、新規会員募集

④ 理事長改選を行う。

ラオスでの活動

学校保健活動では、ビエンチャン市では、サムケ小学校での活動を継続する。

カムワン県ではセバンファイ郡での学校保健活動を継続していきたいが、コロナ禍のこともあり、2020 年度の現地活動は一旦中止とする。

「机いす募金」は中止とし、別の活動を検討する。

スタディツアーについては、2020 年度は中止とする。

「じゃっど」として 27 年間活動して来たが、活動を遠隔地のカムワン県に移したこと、スタッフの高齢化が進み、現地にスタッフがいないため、活動自体が縮小している。

Dr Kongsap と協議して、新しいラオスでの活動体制を構築する。

村の高齢者グループと学童による、世代間交流、健康長寿活動も併せて実施する「高齢者をも巻き込んだ学校保健活動」という新しいテーマを行うには、やはり現地にオフィスを持って専門家も置くことが必須と考え、その実現のため、JICA の草の根事業に応募していく方向とする。

これらの具体化のため、コロナ禍の収束を待って、新理事長を中心にラオスへの現地訪問ミッションを行う。

【事務局たより】

新規会員・ご寄付 (2020.1.21~2020.6.25)

感謝の気持ちと共に、ご協力くださった皆様のお名前を記載させていただきました。(以下敬称略)

- 新規会員 東瀧聖子 (薩摩川内市)
- 令和元年度会費 阿比留裕美 (福岡県)
- 令和2年度会費 かんだ調剤薬局、平山健介、神田安代、神崎侯至、神崎裕士、内田耕也、小倉イソ、菱刈昭郎、菱刈明子、濱田時久、土川京子、土川志織、愛甲勝、中村モータース、假屋泰子、中野育子、岩月洋孝、岩月たち子、川原恵子、山下英礎子、中間明恵、坂元俊二郎、田中康代、久富木千夏、牧田弘子、伊東ひとみ、泊亜希子、宮脇美智子、今村久美子、若松大介、若松しづ子、帖佐徹、帖佐理子、帖佐茉莉花、今屋加代子 (薩摩川内市)、長友由紀子、秋葉美里、狩俣久美、田口加紗音、森岡芳子、大坪稔拓 (鹿児島市)、平屋四男、尻無浜むつみ、高橋真弓 (いちき串木野市)、酒井マリ (鹿屋市)、福元重子 (始良市)、森重学 (霧島市)、小畑愛花 (出水市)、姫野治子、橋本晴美、床波千秋、案浦由美 (福岡県)、阿部雅昭、若松裕子、浅川浩己 (東京都)、山内京子 (広島県)、キハットササ、藤島美由紀 (愛知県)
- 令和3年度会費 向井佑次郎、(株)橋口組、神彰男、島田真理、中島清登 (薩摩川内市)、納光弘 (鹿児島市)、三角悠花 (出水市)、立石智子 (福岡県)、丹沢佳子 (東京都)、長谷川正和 (愛知県)、鎌田到、鎌田佳代子 (北海道)
- 令和4年度会費 本田文男、下尾崎健一 (薩摩川内市)、小屋一美 (いちき串木野市)、田邊ツル子 (和泊町)、岩田誠 (東京都)
- 令和5年度会費 谷口征夫、川畑義照 (薩摩川内市)、南武嗣 (鹿児島市)、堀田哲一郎 (広島県)
- 令和6年度会費 澤田達男 (東京都)
- 令和7年度会費 丸田小百合 (いちき串木野市)
- 令和8年度会費 (株)ハートフル (薩摩川内市)
- 寄付金 本田文男、神田安代、向井佑次郎、下尾崎健一、濱田時久、谷口征夫、牛ノ濱妙子、中村モータース、神彰男、假屋泰子、江口紀子、坂元俊二郎、田中康代、島田真理 (薩摩川内市)、長友由紀子 (鹿児島市)、秋葉美里、田口加紗音、森岡芳子、大坪稔拓 (鹿児島市)、丸田小百合 (いちき串木野市)、

三角悠花 (出水市)、床波千秋、案浦由美 (福岡県)、岩田誠、若松裕子 (東京都)、高野真綾 (埼玉県)

- 大口寄附金 長谷川正和 (愛知県)
- 印刷協力 神崎侯至 (株式会社アクティブ)

【国内活動】

- 1月 30日 NPO 運営管理者養成講座 (東瀧)
- 2月 7日 危機管理・安全管理研修 (高橋)
- 2月 8日 青少年健全育成意見発表会 (小幡)
- 2月 13日 NPO 運営管理者養成講座 (東瀧)
- 2月 16日 薩摩川内市生涯フェスティバル (パネル展示)
- 2月 27日 NPO 運営管理者養成講座 (東瀧)
- 5月 16日 令和2年度第1回理事会 (理事・スタッフ)
第28回定期総会 (理事・正会員)

★第28回定期総会を
5月16日に開催しました。
「3密」を避けて、3人がけ
の机にひとりずつ、全員
マスクをつけての開催と
なりました。



★★★★新理事長の簡略プロフィール★★★★

Beer lao



一緒に活動
しませんか。



1956年生まれの64歳
1985年 青年海外協力隊でアフリカ、タンザニアに2年半派遣
1989~1994年 ネパール、バングラデシュ、ドミニカ、フィリピン、タイ、ラオスで本業の仕事に従事
2012~2013年度 じゃっと理事長
昨年度まで青年海外協力隊OB会長を務め、長きにわたり「川内大綱引き保存会」で熱闘。
「パッション古田」の別名をもつ情熱的な理事長です。

じゃっど INFORMATION

◆ ご存知ですか？ 節税になります！ ◆

じゃっどは認定NPO法人です。寄付金控除が利用できます。

① 寄附の控除を利用しよう！

(寄付金－2000 円) × 40% = 減税

※所得税 40%、(地方税 10%) 合計最大 50%

地方税はお住まいの地域によって対象となるかどうか、違います。所得によっては上限がありますので、ご確認ください。

② 寄付金控除を受けよう！

1. 認定NPO法人に寄付し領収書をもらう

2. 勤務先から「源泉徴収票」をもらう

給与所得者も確定申告が必要です。年末調整では寄付金控除はうけられません。

3. 確定申告書と計算明細書を作成し税務署に提出

◆ じゃっどに寄付をいただいた皆様、誠にありがとうございました。通常は新聞発送時に領収書同封していますが、ご連絡いただけると即日対応も可能です。

◆ スタディツアー参加者 OB 会延期のお知らせ

楽しみにして下さった皆様へ

県をまたぐ移動の制限も緩和しつつありますがまだコロナ収束には至っておらず、OB 会の開催は来年以降に延期となっています。まだ先ですが日程決まり次第ご連絡しますので万象お繰り合わせのうえ川内集合よろしくお願いします。

会員様の会費納入状況(会費有効期限)は、宛名シール内に記載してありますので、ご確認ください。(今年度の会費の有効期間は、令和2年4月1日～令和3年3月31日です)今年度納入された方には、
宛名シール:会費有効期限 R3/3/31 とあります。

じゃっどの活動は皆様の会費に支えられています。
寄付金、随時受け付けております。寄付金は税金控除の対象となります。よろしくお願いいたします。

※郵便局から振込用紙を使って振り込む場合

当座預金 : 01740-2-170105

口座名 : 特定非営利活動法人 じゃっど

※他金融機関からゆうちょ銀行への振り込みの場合

店名 : 七八八 店番 : 788

口座番号 : 3181798

◆ スタディツアー2020 中止のお知らせ

毎年計画していますスタディツアーは世界的に流行している COVID-19 の影響を鑑み今年の募集は中止となりました。次回こどもたちの笑顔に会えるのを楽しみに待ちましょう。

☆ ☆ ☆ 編集後記 ☆ ☆ ☆

★コロナ自粛も疲れてきています。夜のネオンが恋しくて恋しくて。1日もはやく収束しアルコール消毒を実施したい・・・ラオスの情報が少ないのですが心配です。医療体制は、日本と比べるとまだまだだと思われます。(KAMI)

★夏の甲子園も中止になった。中止の連絡を受けても練習を続ける球児たち。自分が今できることをするだけ！まっすぐで一生懸命頑張る姿はどこでだって、どんな形だって、元氣や感動を与えてくれる。(GATA)

★声を突然痛めてしまい、「沈黙療法」をしました。声はコミュニケーションに必要な手段であることを痛感しましたが、植物相手となるとまた別で、快晴無人島模擬生活を楽しみました。(注:カラオケしたわけじゃありません)

はいぶりっじ